

広報 な か わ だ 2020年 3月



第 4 7 5 号

2020年3月1日

中和田カトリック教会 広報委員会

泉区中田北1丁目9-1 Tel (045)803-6141

<http://nakawada-catholic.com>

今年のイースター（2020年4月12日）令和2年

フランシスコ・ザベリオ 日野 武満 神父

広報3月号が発行される三月は四旬節に入って（灰の水曜日）四日目になります。教会の典礼が太陽暦と陰暦を取り入れているので、クリスマスは12月25日太陽暦、復活祭は陰暦を使います。

インターネットでは、紀元9年以降からユリウス暦、16世紀にグレゴリウス暦は太陽暦の365日の誤差に閏年を取り入れ、またローマ皇帝が制定した暦366日説の閏年2月29日とし、8月を30日に一日を加え31日としたとも言われています。（自分の名の月アウグスト8月とするため大の月31日にした）

教会は、私達に主の死と復活に信仰を持って暦にとらわれることなく励むことをすすめます。



アウグストゥス皇帝

教会ごよみ(3月)

日	曜	典 礼 (ミ サ)	備 考	そ の 他
1	日			
6	金			
8	日			
13	金			
14	土			
15	日			
19	木			
20	金			
22	日			
25	水			
27	金			
28	土			
29	日			

**新型コロナウイルス感染症の予防対応のため
ミサ典礼の予定が大幅に変更されています。
ミサ典礼に関する最新の予定をホームページで確認することをお願いします**

<http://nakawada-catholic.com>

※日野神父様は、3/9(月)～3/14(土)迄休暇を取られます。

第39回 典礼研修会に参加して

「ミサはささげるもの？ あずかるもの？ 参加するもの？」

～その2 感謝の典礼と閉祭～

2月11日（休）藤沢教会で、第39回典礼研修会に参加しました。

今回のテーマも昨年に引き続き「ミサはどうやってできているの？」と題して、主日ミサの場の理解とミサのそれぞれの部分についての意味と解説をしていただきました。

初めに、教区典礼委員の小池様から昨年の研修内容（ミサの開祭とみことば）の振り返りがあり、その後<感謝の典礼><閉祭（派遣）>について久我純彦神父様と岡野充良神父様からの講話がありました。

<感謝の典礼>は、多くの部分は司式者によって唱えられてしまうので、会衆の皆様は受け身になりやすいのですが、その意味の解説をしていただきました。それは3つの部分からなりたっていて、

「供え物の準備」「奉献文」「交わりの儀」です。講話の途中で、「奉献文」の叙唱のいくつかの例を参加者の皆様と唱え、また聴き合いました。いつもの主日ミサで神父様から唱えられて聴き慣れている文ですが、いくつかの種類があることに気付かされました。感謝の祈り＝聖体とっていいほど切り離せない関係にあるそうです「平和の挨拶」によって「主の平和が皆さんと共に」「また、司祭と共に」と唱えられ、司祭と会衆の皆が一体となります。

また、ミサにあずかるとは、与ると書きますが、神秘に「あずかる」という場合は、単にいただくという意味ではなく、神秘に参画する、与する（くみする）という意味だそうです。「会衆」は、キリストの名のもとに集まり、キリストが共にいる場において、キリストの（すべての人の贖い、救いのための）自己奉献に合わせて自分を捧げるために集まっている。（捧げるのは、奉納のときの自分のホスチア、献金だけではない）

その会衆とともに司祭はキリストを通して聖霊において父である神にささげる祈りの中で、一つになります。



「交わりの儀」では、「主の祈り」で聖体拝領の準備をし、「聖体拝領」＝コムニオに移ります。聖体拝領は個人的なものに感じますが、そうではなく一つのパンを裂いて一つの家族になることだそうです。

<閉祭（派遣）>に移る前に（簡単なお知らせ）を行うのは「派遣」の意味が生きるためです。感謝の心で「閉祭の挨拶」（派遣の挨拶）がされて、「散会」となります。

私は、御ミサの後半の儀式にこれだけの深い意味があることを知り、大変勉強になりました。

（武田幸子）

～ 中 和 田 の 風 ～

「中 和 田 教 会 に 来 て」

一昨年(2019年)の10月に、金沢教会より転籍して参りました。
金沢区では、教会まで歩いて10分。その後、区内転居をして
20分というところに住んでいました。

今回、ずっと通っていた金沢教会を離れる引っ越しとなり、
一番近いここ中和田教会でも、電動自転車で、25分という
距離となりました。

10月に初めて御ミサに与った時、まず、遠いなと思いました。
祭壇のろうそくの本数が違うとか、御ミサの前にお告げの祈り
を唱えないなど、今までずっと当然だったことが変わってしまい、
戸惑う事ばかりでした。

それに、今まで私はずい分と大きな教会にいたんだなと、そこにいる時には、わかりませんでした。が、
他所へ出て初めて気づきました。でも、反対に、中和田教会はこじんまりしている分、神父様との距離が
近く、ずっとこの信徒という方々の結束の強さを感じました。

そんな時、典礼委員の方が「今日、この後典礼委員会があるのだけど」と声をかけてくださいました。
新しい教会に馴染めずにいたので、あの時、声をかけていただいていたならば、教会から足が遠のい
ていたかもしれません。気持ちよく中和田教会に迎えてくださった信徒の皆様、心よく典礼委員会に迎
えてくださった委員の皆様、そして、このように計らってくださった神様に感謝して居ります。

どうぞよろしくお願ひ致します。

(大沼 武美)



教会からのお知らせ

■転入

マリア・ルチア 岩本 良枝様

(2月22日付けで、藤沢教会から)

(第1地区 和泉町在住)

(総務グループ)



編集後記

3月号の編集をしていますが、今月は大沼武美様
から投稿がありました。大沼さんは金沢教会から転
入をされましたが、その時のお気持ちがよく分かる
文章です。私も教会に来はじめた当時は同じような
不安な心持ちでいました。初めての場所で、親切に
お声をかけていただくと、ほっとしますね。

今、テレビ等で「新型コロナウイルス感染症」の
ことが報道されていて、各種イベントが中止になっ
ています。鎌倉の雪ノ下教会で予定されていた
「お楽しみ会」も中止になったようです。

早く終息することを祈るのみです。

(武田幸子)

委員会だより (文中敬称略)

(2月9日(日) 11名出席)

■日野神父様のお話

・教会建物再建のことが進んでいますが、信徒の皆さんも理解しています。他教会でも再建の動きは見られますが、ここは文化財ではないので、補助金ができません。信徒の献金、近隣教会からの支援献金ならびに横浜教区からの借入金で行われますが、よろしくお願い致します。

1. 建設委員会報告(岩淵建設委員長)

・教区建設委員会へ中和田教会の聖堂・信徒棟のレイアウト案を申請しましたが、香部屋にトイレを付ける事が承認条件とされました。典礼委員会で実現案を検討し石原さんに新しい図面を作成頂きました。また教区建設委員会意見として、事務所の前の玄関(風除室)に扉が2つあるので、人がたまるのではないかということと、事務室にカウンターを付けたらという事でした。いずれも設計士の石原さんに相談をしましたが、カウンター設置は困難との事でした。承認が取れたら、施工業者候補のリストを教区に申請し、外構も含めて相見積もりを取り、業者を決定します。第5地区他教会にも現状を説明し、御支援をお願いしています。

2. 「バザーの会」からの報告(岩淵(英))

・2月中に新旧役員の引継ぎを行い、春のバザーの検討をする。

3. 「みんなの会」からの報告(今井)

・2月度「みんなの会」の会計報告があった。

4. 1月26日信徒大会振り返り

●広報(武田)

・建物再建時のお祝いに記念のパンフレットの様なものを出したいので、皆様のお知恵を頂きたい。

・日野神父様の金祝の折に作成した冊子のような体裁ではどうか、という提案あり。

・本件は継続的に検討していく。

●営繕(五十嵐)

・もう少しで再建されるので、今はできるだけお金をかけない。

●みんなの会(今井)

・今年度は場所が取れば、サロンを行う。21年度のことは話し合っていく。

●山本(福祉)

・6月に藤沢教会で福祉大会があるので、テーマを考えている。

●典礼(岩淵)

・ローマミサ典礼書 総則を読み直し、勉強会をし、再度ミサのあり方を考える。

・近隣教会との連携を強め、合同イベントや合同ミサ等に当教会

も活用して頂く。

・葬儀マニュアルの改版をする。

・多くの方々が主体的にミサに参加できるように考えていく。

・聖堂・信徒棟のリフォーム工事中のミサの開催方法の検討。

・大規模リフォームで改修された後の聖堂や小聖堂の会衆席や設備等の配置・使い方等の検討を要する。

・日野神父様からご聖櫃の安置場所に関する課題提起あり。

5. 各グループからの報告/審議

●総務(小山(利))

・3月のスケジュール確認

6. いろいろな課題(小野委員長)

A) 戸塚教会から、11月の合同ミサの開催日を例年通り、11月15日(日)にするか、主日ミサに影響しないように、11月21日(土)にするかという問いかけがあったがどうするか?
⇒結論: どちらの案でも対応できるので、その旨回答する。

B) 「信徒を増やす」ということを具体的に考える。

1) この件の議論は教会委員だけで閉じることなく、各グループ、各地区で具体的にお話合いの場をもっといただきたい。

2) ベトナム籍の方々の比率が高くなってきており、代表の方に教会委員会に出席して頂く(お願い済)

3) ベトナム籍の方にも、「ごあんない係」のご奉仕に加わって頂くことをお願いしていく。

C) 初めて来られた方々への対応について。

1) 総務Gや典礼Gだけがご案内を担当するのではなく、全信徒がご案内係であることを徹底する・

ご案内係は「ごあんない」係であることを明示するカードを下げる(日野神父様)

2) 初めて来られた方を対象とした「ミサのしおり」は典礼委員会での検討をほぼ終え、近日中に使用開始する。

3) 平日も交代で信徒が(無理のない範囲で)事務室に詰めて、初めて来られる方々に対応する。スケジュール表など別途検討。

7. 財務報告(小野(和))

・1月度の一般会計、建設会計、愛の献金の会計報告があった。

・1月6日に、一般会計から50万円を建設会計に移した。

・「世界子ども助け合いの日」献金(指定献金)では、主日ミサ後の呼びかけに対して13,050円ものご献金を頂き、「愛の献金」からの引当金30,000円を加えた43,050円を横浜教区に送金した。感謝。

以上

(次回委員会 3月8日(日))